

1つ目の柱
—移動手段のエコ化—
○公用車として、CO2排出量ゼロの電気自動車（EV）を昨年3台導入しました。そのうち、箱根中学校美術部の皆さんの原案をもとに箱根大名行列をデザインしたEVも今月から運行します。
○役員庁舎前駐車場に急速充電器を設置しました。（10ペー
ジ写真）
※レイクアリーナ箱根にも設置

2つ目の柱
—環境保全型観光地づくり—
○眺望点の確保や針葉樹林から広葉樹林への転換を目的として、畑引山などにおいて間伐を実施しています。

3つ目の柱
—自然資源の保全—
○県の水資源環境保護税による県交付金、箱根トラストなどを活用し、広葉樹の植樹や仙石原すき草原の保存、温泉や地下水などの資源保全を進めています。

4つ目の柱—自然資源活用型観光の推進—
○毎年5月に森林浴ウォークを開催しています。
○新たな観光旅行分野開拓の一つとして、(財)箱根町観光協会から、観光ガイドとともにわらじで石畳を歩く「箱根八里をゆく」や、ポールを使って自然の中を歩く「箱根ノルディックウォーク」といった着地型旅行商品が販売されました。

5つ目の柱
—環境保全意識の醸成—
○日本の温室効果ガス排出量を6%削減（平成2年比）することを目指す国民的プロジェクト「チーム・マイナス6%」に参加しています。庁舎内の冷房28度・暖房20度設定やクールビズ・ウォームビズ、古紙分別などがその一例です。
○小中学校では、EVを教材として授業が行われました。



環境先進観光地「箱根」の理念
地球規模での環境問題や低炭素社会作りへの貢献とともに、恵まれた自然環境を保全・活用し、いつまでも変わらぬあり続ける観光地として、多くの人々に安らぎと潤いをもたらす、世界から目標とされる国際観光地を目指します。

環境への配慮と二酸化炭素の排出削減に貢献できる国際観光地へ！
つまり・・・

環境先進観光地「箱根」の理念
地球規模での環境問題や低炭素社会作りへの貢献とともに、恵まれた自然環境を保全・活用し、いつまでも変わらぬあり続ける観光地として、多くの人々に安らぎと潤いをもたらす、世界から目標とされる国際観光地を目指します。

環境先進観光地「箱根」の理念
地球規模での環境問題や低炭素社会作りへの貢献とともに、恵まれた自然環境を保全・活用し、いつまでも変わらぬあり続ける観光地として、多くの人々に安らぎと潤いをもたらす、世界から目標とされる国際観光地を目指します。

環境先進観光地「箱根」の理念
地球規模での環境問題や低炭素社会作りへの貢献とともに、恵まれた自然環境を保全・活用し、いつまでも変わらぬあり続ける観光地として、多くの人々に安らぎと潤いをもたらす、世界から目標とされる国際観光地を目指します。



～電気自動車（EV）・EV用急速充電器導入～

照会先 環境課 ☎85-9565

気軽にできる「うちエコ」のすすめ ～冬の衣食住～ 寒い季節も環境にやさしくあたたかく

衣 食 住

○ウォームビズを実践しましょう。インナーウェアをしっかり着れば、着ぶくれを防ぐこともできます。
○ひざ掛けや座ぶとんなどの“ウォーム小物”も効果的です。カーディガンや靴下の着用も体感温度を上げてくれます。

○体の中から温まるものを食べましょう。食材は、ショウガ、唐辛子、大根、人参、かぶ、かぼちゃ、小豆などがお勧めです。
○朝食をしっかり取りましょう。朝のエネルギー補給は、体温を上昇させます。

○暖房中の室温は、原則20℃に設定しましょう。
○エアコンやこたつなどの電化製品本体の手入れや周辺の掃除をしましょう。暖房効率が上がります。
○こたつは敷布団と掛け布団を併せて使いましょう。

地域ごとにさまざまな表情を見せ、四季の移ろいを肌で感じられる大自然は、遠くから足を運んで来る観光客にとってはもちろんのこと、住んでいる町民の皆さんにとって、温泉とともに欠くことのできない箱根の魅力の一つではないでしょうか。しかし、一方では、ゲリラ豪雨と言われるようなすさまじい雨が突然降ったり、夏にうだるような暑い日が続いたり、また雪が少ないために、かまくらや雪だるまを作る光景を見かけなくなるなど、数十年前の箱根とは異なる面もあります。このような中、世界的にも環境を守ることが叫ばれています。「環境先進観光地-箱根」を宣言し、昨年4月に推進本部を発足した当町。今、町が取り組んでいることを皆さんにぜひ知ってもらいたいと思います。なお、皆さん一人ひとりのちょっとした心がけですぐにできるエコ生活も紹介します。冬本番。ひと工夫して、環境にやさしく、暖を取りましょう。ここに挙げたもの以外にも、皆さんが「これは！」と思うものがあれば、積極的に実践してください。継続すると、財布にやさしいことも・・・。